

令和 8 年度 瀬戸市地域産業振興会議
総会

第1号議案

役員 の 指 名 に つ い て

瀬戸市地域産業振興会議規約第11条第2項の規定に基づき副会長、会計担当理事、監事を次のとおり指名する。

(敬称略)

役職名	団体名	職責	氏名
副会長	愛知県陶磁器工業協同組合	理事長	中野 昭雄
副会長	瀬戸暁工業団地協議会	会長	水野 一隆
副会長兼 会計担当理事	瀬戸市	副市長	大森 雅之
監事	瀬戸市穴田企業団地連絡協議会	会長	杉山 大介
監事	瀬戸金融協会	会長	成田 順一

瀬戸市地域産業振興会議規約第13条第2項の規定に基づき顧問を次のとおり指名する。

(敬称略)

役職名	団体名	職責	氏名
顧問	国立大学法人名古屋工業大学	学長	小畑 誠
顧問	瀬戸市議会	議長	高島 淳
顧問	瀬戸市	市長	川本 雅之

瀬戸市地域産業振興会議規約第14条第2項の規定に基づき参与を次のとおり指名する。

(敬称略)

役職名	団体名	職責	氏名
参与	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中部センター	所長代理	山田 保誠
参与	独立行政法人 日本貿易振興機構 名古屋貿易情報センター	所長	平野 修一
参与	一般財団法人 ファインセラミックスセンター	専務理事	市原 健資
参与	あいち産業科学技術総合センター 技術支援部 瀬戸窯業試験場	場長	市毛 将司
参与	経済産業省中部経済産業局 産業部 産業振興課	課長	大橋 康史
参与	愛知県 経済産業局 産業部 産業政策課	課長	社本 朗
参与	瀬戸公共職業安定所	所長	山田 日廣

第2号議案

令和7年度瀬戸市地域産業振興会議 事業報告

1. 会議の開催

総会1回、幹事会2回

期 日	名 称	内 容
令和7年 4月25日（金）	第1回 幹事会	1 令和7年度瀬戸市地域産業振興会議総会の開催について 2 その他
5月19日（月）	総 会	第1号議案 役員の指名について 第2号議案 令和6年度瀬戸市地域産業振興会議事業報告 第3号議案 令和6年度瀬戸市地域産業振興会議収支決算報告 第4号議案 令和7年度瀬戸市地域産業振興会議事業計画（案） 第5号議案 令和7年度瀬戸市地域産業振興会議収支予算（案）
9月17日（水）	第2回 幹事会	1 令和7年度事業実施状況について 2 令和8年度事業実施に向けた意見交換 3 その他

2. 産業支援・交流事業

(1) 「産業支援センターせと」における支援等

① コーディネーター・相談員による定例相談、企業訪問

瀬戸商工会議所内に設置している相談窓口において、瀬戸商工会議所と連携を図りながら、新事業展開、販路開拓、補助金活用等のアドバイスのほか、支援機関へのコーディネート等を実施した。

特に令和7年度はコーディネーターの勤務体制の見直し、積極的な企業訪問による案件発掘や、フォローアップ等、事業者からの相談に柔軟な対応が出来る体制に変更し、幅広い支援を実施した。

相談内容	開催日	コーディネーター／相談員	令和7年度実績 (令和6年度実績)
a. 新事業展開、 販路開拓相談	事前予約制で随 時対応	・新事業支援コーディネーター ・技術支援コーディネーター ・新事業・事業承継支援コー ディネーター ・IT支援コーディネーター ・補助金支援コーディネーター	来所166件(117件) 電話0件(11件) ※原則予約制に変更 事業者訪問113件(56件)
b. 技術相談、 IT・知財相談			
c. 創業支援相談	原則、毎週火曜日	・創業支援コーディネーター	来所132件(151件)

② 瀬戸商工会議所による専門相談（経営、法律、特許、税務、IT活用等の各種相談）

従来からの融資や税務相談に加え、インボイス制度や電子帳簿保存法等の申請に向けた事業環境の変化などに対応した相談窓口の充実を図った。

※ 令和7年度 利用者数延べ353名(令和6年度 利用者数延べ354名)

③ 人材確保・定着のための雇用関係助成金活用セミナー

デジタル人材育成支援制度や雇用関係の助成金等について解説する助成金活用セミナー及び個別相談会を開催した。

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和7年 9月26日(金) 13:30～ 15:30	瀬戸商工会議所 301会議室	4名 (申込者7名)	人材確保・定着のための雇用関係助成金 セミナー 講師 犬飼社会保険労務士事務所 代表 犬飼 佳寿子 氏
15:30～ 16:30		0名 (申込者2名)	個別相談 相談員 愛知労働局職員

④ 中小企業関連施策説明会－経済産業省等が実施する中小企業支援施策について－

国の支援制度の利用促進を図るため、令和8年度に実施が予定されている中小企業支援施策の説明会を開催した。併せて多様化する採用手法と地域の可能性や“すべて自社で”を見直すはたらき方などについてセミナーを開催した。

(瀬戸市地域産業振興会議、瀬戸商工会議所、瀬戸信用金庫共催事業)

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和8年 2月2日(月) 13:30～ 16:00	瀬戸蔵4階 多目的ホール	47名 うちオンライン 27名	1 中小企業に関する支援施策について 講師 中部経済産業局産業部産業振興課 課長 片桐 祐子 氏 2 足りないのは人じゃない、仕組みだ！人材不足時 代の新発想 講師 パーソルテンプスタッフ株式会社 渡辺 裕太 氏 他1名

(2) 事業者支援パンフレット作成

市内事業者の経営環境改善に向けた取り組みを支援するため、市内事業者が利用できる補助制度等を1冊にまとめた「事業者支援ガイド2025」を作成し、市内金融機関の窓口など関係機関と連携し、支援制度の啓発を図った。

(3) 外部人材・専門家派遣活用事業補助金

経営改善に取り組む意欲がある市内事業者の経営力を強化するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構又は公益財団法人あいち産業振興機構の専門家派遣事業に係る費用の一部の助成に加え、自社の課題解決のため業務委託により外部人材を活用する費用の一部を助成する制度を設けるとともに、外部人材の積極的な活用について普及啓発を行った。

(補助対象経費の2分の1、上限20万円(外部人材活用の場合は10万円)、同一事業者への交付は同一年度1回に限る)

※令和7年度 利用件数0件(令和6年度 利用件数3件)

(4) 販路拡大事業補助金

市内事業者が国内の展示会・見本市等に出展する場合に出展費用の一部の助成に加え、技術PR用動画の作成費用や企業間取引(BtoB)向けビジネスマッチングサイトへの掲載費用も対象として費用の一部を助成した。(補助対象経費の2分の1、小売りを目的としない国内の展示会等への出展に対しては上限20万円(初出展の場合は30万円)、海外の展示会等への出展や渡航に対して上限40万円、小売りを目的とする展示会等への出展に対して上限6万円、ビジネスマッチングサイトへの掲載に対して上限20万円、技術PR用動画作成に対して上限10万円、同一事業者への交付は同一年度1回に限る)

※令和7年度 利用件数25件(令和6年度 利用件数18件)

内訳：①国内で行う展示会等 21件(うち小売りを目的とするもの8件)

②海外で行う展示会等 2件

③技術PR用動画制作 2件

(5) 知的財産登録費助成事業(知的財産権登録事業補助金)

知的財産権(特許権、実用新案権、意匠権及び商標権)の登録に係る費用の一部を助成した。(補助対象経費の2分の1、上限15万円、同一事業者への交付は同一年度内で2件まで15万円を限度とし、通算3年度まで)

※令和7年度 利用件数2件(令和6年度 利用件数4件)

(6) 職場環境づくり応援事業（職場環境づくり応援事業補助金）

多様な従業員の働きやすい職場環境を整えることにより、生産性向上や雇用定着・確保の促進を図るため、産業支援センターせとのコーディネーターによる伴走支援を行うとともに、事業に要する費用の一部を助成した。

（下記①から③を組み合わせ活用可能。上限50万円、1事業者1回限り）

① 労働衛生整備事業

事業の用に供している市内の建物において、職場の労働衛生を整備する設備の新設又は増設に係る費用の一部を助成した。

（補助対象経費の2分の1、上限30万円）

※令和7年度 利用件数2件（令和6年度 利用件数3件）

② 業務改善ITツール導入支援事業

情報管理及びコミュニケーションの向上が図られる業務改善ITツールを導入する費用の一部を助成する制度を整備した。

（補助対象経費の全額、上限10万円）

※令和7年度 利用件数0件（令和6年度 利用件数0件）

③ テレワーク導入促進事業

働き方改革のためにテレワークを導入する費用の一部を助成した。

（補助対象経費の2分の1、上限20万円）

※令和7年度 利用件数1件（令和6年度 利用件数0件）

(7) 情報発信事業

① 企業向け支援施策、セミナー開催等の情報提供

セミナーや国・県・市の支援制度について、産業支援センターせとのホームページに掲載するとともに、メールマガジン及びインスタグラムで情報提供を行った。

（メルマガ配信：24回 インスタグラム：フォロワー142名（7名増））

② 地元企業のPR支援

産業支援センターせとホームページの「瀬戸市企業ガイド」について、関係機関と連携し随時掲載内容の更新を行った。

※掲載件数 143件

③ 金城学院大学と連携した情報発信事業

金城学院大学と連携し、女子大学生が主体的に市内企業及びせと・しごと塾卒塾生の取材を行い、ラジオ放送、映像コンテンツ、ソーシャルメディア等を通して、若年層向けの情報発信を行った。

令和7年度も引き続き、職場の雰囲気や魅力が伝わるように座談会形式で取材を実施した。ターゲットとなる学生を意識して、新たに縦型のショート動画を作成し、情報発信の強化に取り組んだ。

※毎月第3金曜日にRADIO SAN-Qに出演、同内容をInstagramに投稿

※令和7年度 市内企業レポート6件、せと・しごと塾卒塾生レポート6件

(8) 海外展開支援

海外展開を目指す事業者に海外ビジネスのノウハウを提供するため、日本貿易振興機構（JETRO）と連携し、高度外国人材の採用戦略から採用・受入・定着におけるポイント・ノウハウなどに関するセミナー及び個人ワークショップを開催した。

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和7年 12月9日(火) 14:00～ 16:15	瀬戸蔵4階 会議室4・5	10名	「高度外国人材活躍推進セミナーin瀬戸」 講師 ユニバード代表取締役CEO エンピ・カンデル 氏

(9) 新商品発掘・創出支援事業（新商品発掘創出支援事業補助金）

市内事業者の新商品の発掘・創出を支援するため、瀬戸商工会議所と連携し、開発に向けたセミナーを開催するとともに、創出に係る費用の一部を助成した。

（補助対象経費の3分の2又は2分の1、上限5万円）

※令和7年度 利用件数10件 （令和6年度 利用件数10件）

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和8年 1月28日(水) 13:30～ 16:30	瀬戸商工会議所 大会議室	4名	「自社商品が生まれ変わる！売れる商品改良セミナー」 講師 中小企業診断士 寺田 久美 氏

(10) 新規スタートアップ連携事業補助金 ※新しい地方経済・生活環境創生交付金対象事業

市内事業者の経営課題の解決や生産性向上、高付加価値化を図るため、革新的なアイデアやスキーム（シーズ）を持つスタートアップとのオープンイノベーションによる連携事業に係る費用の一部を助成した。（令和7年度～令和9年度）

（補助対象経費の3分の2、上限50万円）

※令和7年度 利用件数3件

(11) 新規付加価値向上を目指した実践型事業開発セミナー及びPR事業

※新しい地方経済・生活環境創生交付金対象事業

市内事業者が瀬戸焼関連事業者と連携して、自社事業や商品の見直し等、徹底的な自社分析を行い、自社の強みを再定義することに取り組むとともに、具体的な商品開発の立案、新規事業計画の策定、サンプル商品の開発、異業種交流会の開催までを一つのパッケージとした実践型事業開発セミナーを実施した。

（令和7年度：実践式セミナーの開催、個別支援等）

（令和9年度：事業展開・販路開拓に係るマーケティング・プロモーション費用等）

概要 開催期間 令和7年7月17日（木）（キックオフセミナー）

令和7年9月18日（木）～令和8年3月18日（水）（SESSION全7回）

参加社数 7社

3. 産学・産産連携事業

(1) 大学及び研究機関等との産学連携

技術支援コーディネーターのネットワークを活用し、大学等の研究成果（シーズ）と市内事業者のニーズとのマッチングの機会を提供するほか、技術開発や人材交流に向けた関係づくりを支援した。

・産業支援センターせと技術支援コーディネーターの活用

企業訪問等により企業の課題や要望を把握し、これらに即した具体的アドバイス、研究機関、行政機関とのコーディネートや課題に適合する補助金・融資制度等の紹介を行った。

(2) 名古屋工業大学連携事業

① 企業見学会

市内企業と名古屋工業大学及び学生の雇用に関するネットワークを構築し、市内企業への就業を促進するための企業見学会を開催した。

開催日	見学先企業	参加者延べ人数
令和7年 11月13日（木）	株式会社ジェイテクトギヤシステム 伊藤忠セラテック株式会社	63名
11月20日（木）	日東工業株式会社 株式会社MARUWA	

② サテライトキャンパスの開催

講義と実践を通じて最先端生成AIを活用し、業務効率化やスキルアップを図ることを目的にしたセミナーを開催した。

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和7年 11月5日（水） 14:00～ 16:00	瀬戸蔵4階 会議室4・5	11名	「生成AI活用ハンズオンセミナー」 ・生成AIの効果的な使い方とは？ ・ハンズオンセッション AIツールの操作体験 講師 お土産発注サービス「みやげる」代表 名古屋工業大学 渡邊 寿紀 氏

(3) 新事業展開・技術開発費助成事業（新事業展開・技術開発支援事業補助金）

市内事業者が行う新事業展開、新製品・新技術の研究及び開発に対して、大学・公的研究機関等との技術開発を目的とする共同研究、委託研究、材料や製品の分析、測定等を行う依頼試験に要した経費（経費の合計額が1万円未満の場合は対象外）の一部を助成した。（補助対象経費の2分の1、上限30万円、ただし、大学等研究機関との契約を有しない依頼試験等に対しては上限10万円、同一事業者への交付は同一年度内で各区分において定めた額を限度とする）

※令和7年度 利用件数2件（令和6年度 利用件数2件）

(4) 新規インキュベーション施設との連携

※新しい地方経済・生活環境創生交付金対象事業

日本最大級のオープンイノベーション拠点であるSTATION Aiへ令和7年7月から入居し、市内事業者の経営課題解決や生産性向上、高付加価値化に資する革新的なアイデアやスキーム（シーズ）を持つスタートアップとの連携創出や情報収集を図った。また、その他のインキュベーション施設との連携を図った。（令和7年度～令和9年度）

市内事業者とスタートアップ企業のマッチング件数（23件）

週1～2回程度 計40回出張

① MEET START UP 生産性向上セミナー（瀬戸商工会議所共催）

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和7年 10月21日（火） 14:00～ 15:30	瀬戸商工会議所	18名	・スタートアップ4社によるピッチ ・スタートアップとのグループ相談会 登壇スタートアップ企業（4社） ・codeless technology株式会社 ・アイティップス株式会社 ・株式会社はんぼさき ・株式会社KAMAMESHI

② 「ゼロから学ぶ中小企業のための生成AI入門」（瀬戸信用金庫共催）

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和8年 2月27日（金） 15:00～ 16:30	STATION Ai	25名	・STATION Ai入居スタートアップ企業によるAIセミナー ・STATION Ai見学会 登壇スタートアップ企業 ・株式会社KANNON

③ ファインセラミックス部会向け生産性向上セミナー（愛知県陶磁器工業協同組合共催）

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和8年 3月6日（金） 15:00～ 17:00	愛知県陶磁器工業協同組合	13名	・スタートアップ3社によるピッチ ・スタートアップとのグループ相談会 登壇スタートアップ企業（3社） ・株式会社KNiT ・POLYMERIZE 合同会社 ・株式会社キャリアサバイバル

※その他主な活動は別紙のとおり

4. 人材育成・雇用促進事業

(1) セミナー・講習会の開催

① 瀬戸商工会議所講習会

瀬戸商工会議所において、「経営革新セミナー」、「自社商品が生まれ変わる！売れる商品の改良セミナー」、「経営基礎力向上セミナー」、「仕事に活用できる最新生成 AI セミナー」、インターネットによる映像視聴で経営情報を学ぶ「Webセミナー」等の各種講習会を開催した。

※令和7年度 参加者数延べ205名（令和6年度 参加者数延べ246名）

(2) 中小企業者研修費助成事業

中小企業の人材を育成するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施する研修を受講した場合に、受講料の一部を助成する制度を整備した。

（受講料の2分の1、上限5万円）

※令和7年度 利用件数0件（令和6年度 利用件数3件）

(3) 雇用対策事業

求職者に対して市内企業をPRするための企業ガイドブックの配布や、市内事業者が抱える雇用における課題の解消等に努めた。

また、企業の採用活動が多様化、複雑化していることを踏まえ、瀬戸・尾張旭雇用対策協議会と連携し、効果的な雇用対策事業を実施した。

(4) 企業訪問事業

産業支援センターせとのコーディネーターとハローワークの職員が連携して企業を訪問することで、人材確保支援や雇用に係る助成金活用等のアドバイスを行った。

※2回訪問

(5) インターンシップ支援事業

名古屋産業大学等と連携し、複数の市内企業に1DAYインターンシップへの参画を得て、学生が多く企業で学べる機会を提供する市内企業連携インターンシッププログラムを実施した。

開催日	内容	参加者数
令和7年 7月24日（木）	企業向け事前説明会 株式会社オプトン 香流工業株式会社 株式会社ケーアールアイ ハッコウソニック株式会社	企業4社
8月19日（火）	学生向け事前説明会	学生7名
8月25日（月） ～8月29日（金）	8月25日（月）市内散策 インターンシップ 8月26日（火）株式会社ケーアールアイ 8月27日（水）香流工業株式会社 8月28日（木）株式会社オプトン 8月29日（金）ハッコウソニック株式会社	学生5名
9月5日（金）	成果発表会	学生2名 企業4社

(6) せとまちマッチング事業

学生、市内企業によるマッチングリストを作成し、リストに登録した学生と市内企業がLINEを利用して、インターンシップや企業見学会などの情報を共有した。

制度の更なる普及促進を図るため、学生向けのフライヤーを活用し、県内大学等のキャリアセンターや市内外各所に配置するとともに、就職フェア等での配布を行った。

(登録数 企業：44社 学生39名)

(7) 未来創造たまご塾 in せと

瀬戸キャリア教育推進協議会及び瀬戸・尾張旭雇用対策協議会と連携し、市内の小・中学生と起業家や市内企業との交流を通して、アントレプレナーシップの醸成や地域経済の発展に欠くことのできない新たな価値創造ができる人材を育成し、市内企業の人材確保につなげていくワークショップを開催した。

開催日時	会場	参加者数	内容
令和7年 8月23日(土) 13:30～ 16:00	瀬戸蔵4階 多目的ホール	29名	対象 小学校5・6年生・中学校1～3年生) 企画運営 株式会社ドングルズ 協力 株式会社エコペーパーJP 株式会社加藤工務店 株式会社ジェイテクトギヤシステム 合同会社TRY&TRI 株式会社ニッコーインテック 合資会社マルワイ矢野製陶所 株式会社HALO

5. 創業支援事業

(1) せと・しごと塾

地域の需要や課題をビジネスの視点でとらえた「地域ビジネス」の創業に必要な知識を、座学と実践の両面から学ぶ機会やあま市の起業家との交流の場を提供し、起業家を輩出する環境づくりを行ったほか、起業の輩出・促進支援としてセミナーを開催した。

第17期概要 開催期間 令和7年7月3日（木）～11月14日（金）
卒塾数 13名
内容 座学 15日15コマ
実学 事業概要発表会（8月29日（金）3分間の事業PR）
事業計画発表会（11月14日（金）5分間の事業PR）

(2) 起業セミナー

市内で「起業したい」と考えている人を対象に、起業のポイントを伝え、起業を実現するためのきっかけを提供した。

名称	開催日時	会場	参加者数	内容・講師
起業セミナー	令和8年 3月6日(金) 13:30～16:00	瀬戸蔵4階 多目的ホール	22名	1 起業のポイント 講師 小坂英雄氏(せと・しごと塾塾長) 2 卒塾生によるパネルディスカッション ファシリテーター 小坂英雄氏 パネラー 深見由佳梨氏(16期生) 森実加氏(16期生) 3 創業支援施策紹介

(3) せと・創業くらぶ

創業希望者及び創業者を対象とした登録制コミュニティを創設し、相談窓口やセミナーといった経営課題の解決につながる各種支援情報をメールやLINEで提供することで、新たな創業者の輩出及び創業後のフォローアップを実施した。

(4) せと・創業カフェ

名称	開催日時	会場	参加者数	内容・講師
せと・創業カフェ (1回目)	令和7年 12月22日(月) 13:30～15:30	文化センター 12会議室	6名	1 AI活用講座 講師 小坂英雄氏(せと・しごと塾塾長) 2 交流会
せと・創業カフェ (2回目)	令和8年 3月18日(水) 13:30～15:30	瀬戸商工会議所 大会議室	10名	1 100の視点で自分を知る 強み発見ワークショップ 講師 小坂英雄氏(せと・しごと塾塾長) 2 交流会

(5) 個別相談

創業相談に実績があるせと・しごと塾塾長の小坂英雄氏及び講師の柴田朋子氏が、創業支援マネージャーとして産業支援センターせとにおいて創業相談を行い、創業希望者や創業者への助言及び指導を実施した。

※令和7年度 計42回（令和6年度 計42回）

第3号議案

令和7年度瀬戸市地域産業振興会議 収支決算報告

【収入】

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	備 考
前年度繰越金	1,000,361	1,000,361	
負 担 金	15,038,000	15,038,000	瀬戸市 10,500,000 瀬戸市(新しい地方経済・生活環境創生創生交付金対象分) 3,500,000 瀬戸商工会議所 386,000 愛知県陶磁器工業協同組合 386,000 瀬戸暁工業団地協議会 78,000 瀬戸市穴田企業団地連絡協議会 78,000 愛知県珪砂鋳業協同組合 39,000 瀬戸金融協会 39,000 瀬戸市商店街連合会 8,000 愛知県トラック協会尾東支部 8,000 日の出企業会 8,000 山の田企業懇話会 8,000
雑 収 入	1,639	34,053	預金利子他
基 金	2,000,000	0	瀬戸市地域産業振興基金
合 計	18,040,000	16,072,414	

【支出】

(単位：円)

括弧内：主な事業（内数）

科 目	予算額	決算額	備 考
会 議 費	5,000	3,274	
事 業 費	17,997,000	15,618,310	産業支援・交流事業 13,371,210 (内訳) 謝金・旅費 3,000,000 (専門相談 3,000,000) 印刷製本費 30,745 通信運搬費 28,313 委託料 4,029,318 (コーディネーター等委託 3,410,000) 補助金 6,094,400 (販路拡大支援 3,390,000) (知的財産権登録 300,000) (職場環境づくり応援 535,000) (新商品発掘創出支援 488,400) (スタートアップ連携 1,381,000) 消耗品費 25,454 負担金 150,000 雑費 12,980 産学・産産連携事業 1,297,100 (内訳) 謝金・旅費 114,000 委託料 508,200 補助金 94,100 使用料 575,300 雑費 5,500 人材育成・雇用促進事業 950,000 (内訳) 謝金・旅費 800,000 負担金 150,000 ※内、7,000,000円が新しい地方経済・生活環境創生交付金対象分
予 備 費	38,000	0	
合 計	18,040,000	15,621,584	

※次年度繰越金 収入決算額（16,072,414円）－支出決算額（15,621,584円）＝450,830円

《特別会計》 創業支援事業 収支決算報告

【収入】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	備 考
繰 越 金	143,405	143,405	
負 担 金	2,000,000	2,000,000	瀬戸市からの負担金
雑 収 入	141,595	93,131	受講費7,000円×13名、預金利子
合 計	2,285,000	2,236,536	

【支出】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	備 考
事 業 費	2,141,595	1,833,078	謝金・旅費 584,750 交流事業費 56,952 委託料 1,080,820 消耗品費 30,586 備品購入費 22,770 使用料 44,000 雑費 13,200 予備費 0
還 付 金	143,405	143,405	
合 計	2,285,000	1,976,483	

※次年度繰越金 収入決算額 (2,236,536 円) - 支出決算額 (1,976,483 円) = 260,053 円

財産に関する調書

1 基金

(1) 瀬戸市地域産業振興基金

前年度末現在高	決算年度末現在高	決算年度中 増 減 高	増減理由
4,745,246 円	4,750,855 円	+5,609 円	預金利子 + 5,609 円

監査報告

令和7年度における瀬戸市地域産業振興会議の会計帳簿及び証拠書類について監査した結果、適正であると認める。

令和 8年 4月 2日

監事 瀬戸金融協会

会長 成田 順一

監事 瀬戸市穴田企業団地連絡協議会

会長 杉山 大介

第4号議案

令和8年度瀬戸市地域産業振興会議 事業計画（案）

《基本方針》

瀬戸市地域産業振興会議の目的である活力ある地域経済と豊かなまちづくりの実現のため、「産業支援・交流」、「産学・産産連携」、「人材育成・雇用促進」、「創業支援」の4テーマを柱に据え各種事業を展開していく。

令和8年度は、市内事業者の課題解決や生産性向上、新商品開発、技術開発等の支援を行うとともに、職場の魅力向上や雇用対策に継続して取り組む。また、産業支援センターせとのコーディネーターによるプッシュ型の伴走支援を積極的に展開し、稼ぐ力の強化に向けて、令和7年度から採択されている国の地域未来交付金を活用し、STATION Ai における活動を拡充することにより、スタートアップ企業との連携強化による市内事業者の生産性向上や付加価値向上に取り組む。

1. 産業支援・交流事業

(1) 「産業支援センターせと」における支援策等

① コーディネーター・相談員による定例相談、企業訪問

新事業展開、販路開拓、補助金活用等のアドバイスのほか、企業訪問による案件発掘及びフォローアップ、支援機関へのコーディネート等を実施する。

令和8年度も、昨年に引き続き、チーフコーディネーターを配置するとともに、相談案件に応じて、より柔軟に対応が出来る専門的な知見を有するコーディネーターを選定するなど、市内事業者にとってより有益な支援が受けられる体制を強化する。

相談内容	開催日	コーディネーター／相談員
a. 新事業展開、 販路開拓相談	事前予約制で随時対応	・新事業支援コーディネーター ・技術支援コーディネーター ・新事業・事業承継支援コーディネーター ・IT支援コーディネーター ・補助金支援コーディネーター
b. 技術相談、 IT・知財相談		
c. 創業支援相談	原則、毎週火曜日	・創業支援コーディネーター
d. 経営相談	事前予約制	・瀬戸商工会議所 中小企業相談所職員 ・瀬戸金融協会所属 中小企業診断士
e. 海外展開・創業相談		

② 瀬戸商工会議所による専門相談（経営、法律、特許、税務、IT活用等の各種相談）

従来からの融資や税務相談に加え、インボイス制度や電子帳簿保存法等の申請に向けた事業環境の変化などに対応した相談窓口の充実を図る。

③ セミナーの開催

市内事業者の新事業展開、販路拡大、デジタル化等の取り組みを支援するために、各種セミナーを開催する。

(2) 事業者支援パンフレット作成

市内事業者の経営環境改善に向けた取り組みを支援するため、市内事業者が利用できる補助制度等を1冊にまとめた「瀬戸市事業者支援ガイド」を更新する。作成後は、市内金融機関窓口へ情報提供を行うとともに、関係機関と連携し関係各所へ配置するなど、制度の啓発を図る。

(3) 外部人材・専門家派遣活用事業補助金

経営改善に取り組む意欲がある市内事業者の経営力の強化するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構又は公益財団法人あいち産業振興機構の専門家派遣事業に係る費用の一部の助成及び自社の課題解決のため業務委託により外部人材を活用する費用の一部を助成する。

(補助対象経費の2分の1、上限20万円(外部人材活用の場合は10万円)、同一事業者への交付は同一年度1回に限る)

(4) 販路拡大事業補助金

市内事業者が国内の展示会・見本市等に出展する場合の出展費用、技術PR用動画の作成費用及び企業間取引(BtoB)向けビジネスマッチングサイトへの掲載費用の一部を助成する。

(補助対象経費の2分の1、小売りを目的としない国内の展示会等への出展に対しては上限20万円(初出展の場合は30万円)、海外の展示会等への出展や渡航に対して上限40万円、小売りを目的とする展示会等への出展に対して上限6万円、ビジネスマッチングサイトへの掲載に対して上限20万円、技術PR用動画作成に対して上限10万円、同一事業者への交付は同一年度1回に限る)

(5) 知的財産登録費助成事業(知的財産権登録事業補助金)

知的財産権(特許権、実用新案権、意匠権及び商標権)の登録に係る費用の一部を助成する。

(補助対象経費の2分の1、上限15万円、同一事業者への交付は同一年度内で2件まで15万円を限度とし、通算3年度まで)

(6) 職場環境づくり応援事業(職場環境づくり応援事業補助金)

多様な従業員の働きやすい職場環境を整えることにより、生産性向上や雇用定着・確保の促進を図るため、産業支援センターせとのコーディネーターによる伴走支援を行うとともに、事業に要する費用の一部を助成する。

(下記①から③を組み合わせ活用可能。上限50万円、1事業者1回限り)

① 労働衛生整備事業

事業の用に供している市内の建物において、職場の労働衛生を整備する設備の新設又は増設に係る費用の一部を助成する。

(補助対象経費の2分の1、上限30万円)

② **業務改善 I T ツール導入支援事業**

情報管理及びコミュニケーションの向上が図られる業務改善 I T ツールを導入する費用の一部を助成する。

(補助対象経費の全額、上限 10 万円)

③ **テレワーク導入促進事業**

働き方改革のためにテレワークを導入する費用の一部を助成する。

(補助対象経費の 2 分の 1、上限 20 万円)

(7) 情報発信事業

① **企業向け支援施策、セミナー開催等の情報提供**

セミナーや国・県・市の支援制度について、産業支援センターせとのホームページに掲載するとともに、メールマガジンの送信 (2 回/月) 及びインスタグラム (随時) での配信により情報提供を行う。

② **地元企業の P R 支援**

産業支援センターせとホームページの「瀬戸市企業ガイド」で市内企業の魅力を P R する。

③ **金城学院大学と連携した情報発信事業**

若者の視点で市内企業の魅力や強みを若い世代をターゲットに配信し、地域経済の活性化や人材育成につなげる為、金城学院大学と連携し、女子大学生が主体的に市内企業及びせと・しごと塾卒塾生等に取材を行い、ラジオ放送、ソーシャルメディア等を通じて若年層に向けた情報発信を行う。市内企業への取材にあたっては、事前に業務体験や企業見学等を行うことで、企業目線を踏まえた質の高い取材を実施する。

(8) 海外展開支援

インバウンド需要を起点とした将来的な輸出・越境 EC による海外販路開拓につなげるため、インバウンドのニーズに対応した商品、サービスの開発を促進するため、日本貿易振興機構 (JETRO) と連携し、インバウンドの最新傾向と、インバウンドを活用した販路拡大に向けたセミナーを開催する。

(9) 新商品発掘・創出支援事業 (新商品発掘創出支援事業補助金)

せともん “ど” セレクションのブランド化を促進するとともに、市内事業者の新商品の発掘・創出を支援し、開発に向けたセミナーを開催する。

また、創出に係る費用の一部を助成する。

(補助対象経費の 3 分の 2 又は 2 分の 1、上限 5 万円)

(10) スタートアップ連携事業補助金 ※地域未来交付金対象事業

市内事業者の経営課題の解決や生産性向上、高付加価値化を図るため、革新的なアイデアやスキーム（シーズ）を持つスタートアップとのオープンイノベーションによる連携事業に係る費用の一部を助成する。（令和7年度～令和9年度採択）

（補助対象経費の3分の2、上限50万円）

(11) 付加価値向上を目指した実践型事業開発セミナー及びPR事業

※地域未来交付金対象事業

市内事業者が瀬戸焼関連事業者と連携して、自社事業や商品の見直し等、徹底的な自社分析を行い、自社の強みを再定義することに取り組むとともに、具体的な商品開発の立案、新規事業計画の策定、サンプル商品の開発、異業種交流会の開催までを一つのパッケージとした実践型事業開発セミナーを実施する。

（令和7年度・8年度：実践式セミナーの開催、個別支援等）

（令和9年度：事業展開・販路開拓に係るマーケティング・プロモーション費用等）

2. 産学・産産連携事業

(1) 大学及び専門学校との産学連携

技術支援コーディネーターのネットワークを活用し、大学等の研究成果（シーズ）と市内企業のニーズとのマッチングの機会を提供するほか、技術開発や人材交流に向けた関係づくりを支援する。

(2) 名古屋工業大学連携事業

① 市内企業見学会の開催

市内企業と名古屋工業大学及び学生の雇用に関するネットワークを構築し、市内企業への就業の促進を図るため、企業見学会を開催する。

② サテライトキャンパス（出張講義）の開催

名古屋工業大学のセラミックス工学分野をはじめとした研究成果（シーズ）を市内企業に普及することで、地域産業の発展に資するため、講師陣による出張講義の開催に向けて調整を図る。

(3) 産学・異業種連携促進事業

教育・研修機関との産学連携や異業種連携を推進する。

(4) 新事業展開・技術開発費助成事業（新事業展開・技術開発支援事業補助金）

市内事業者が行う新事業展開、新製品・新技術の研究及び開発に対して、大学・公的研究機関等との技術開発を目的とする共同研究、委託研究、材料や製品の分析、測定等を行う依頼試験に要した経費（経費の合計額が1万円未満の場合は対象外）の一部を助成する。

（補助対象経費の2分の1、上限30万円、ただし、大学等研究機関との契約を有しない依頼試験等に対しては上限10万円、同一事業者への交付は同一年度内で各区分において定めた額を限度とする）

(5) インキュベーション施設との連携 ※地域未来交付金対象事業

日本最大級のオープンイノベーション拠点である STATION Ai における活動を拡充し、市内事業者の経営課題解決や生産性向上、高付加価値化に資する革新的なアイデアやスキームを持つスタートアップとの連携創出や情報収集を図る。また、その他のインキュベーション施設との連携を図る。（令和7年度～令和9年度）

(6) スタートアップ企業と連携した DX・AI 導入事例セミナー 新規

※地域未来交付金対象事業

STATION Ai に入居するスタートアップ企業と連携し、生産性向上、高付加価値化に向けた AI の内製化やデジタル化・DX 等の取り組みに成功している企業の見学会等を通じ、成功事例を学ぶセミナーを開催する。

3. 人材育成・雇用促進事業

(1) セミナー・講習会の開催

① 瀬戸商工会議所講習会事業

瀬戸商工会議所において、パソコンや税務等に関する講習会を開催する。

② スタートアップ企業と連携した採用テクニックセミナー **新規**

STATION Ai 入居企業であるスタートアップ企業及び瀬戸・尾張旭雇用対策協議会と連携して、高等学校卒業者採用の仕組み、採用に向けて企業が発信すべき情報、現代の AI 時代の採用テクニックやマーケティングなどについてのセミナーを開催する。

③ その他セミナー・講習会の開催

市内事業者を対象に、働き方改革関連の助成金活用や、事業承継対策等を目的とした個別相談会及び講習会を開催する。

(2) 中小企業者研修費助成事業

中小企業の人材を育成するため、従業員や経営者の各種研修の受講を支援する。独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施する研修を受講した場合に、受講料の一部を助成する。(受講料の2分の1、上限5万円)

(3) 雇用対策事業

求職者に対して市内企業をPRするための企業ガイドブックの配布や、市内事業者が抱える雇用における課題の解消等に努める。

また、企業の採用活動が多様化、複雑化していることから、瀬戸・尾張旭雇用対策協議会と連携し、より効果的な雇用対策事業について検討していく。

(4) 企業訪問事業

産業支援センターせとのコーディネーターとハローワークの職員が連携して企業を訪問することで、人材確保支援や雇用に係る助成金活用等のアドバイスを行う。

(5) インターンシップ支援事業

瀬戸・尾張旭雇用対策協議会、ハローワーク瀬戸及び瀬戸信用金庫と連携し、専門職大学の学生の臨地実務実習受け入れをとおした市内企業のインターンシップ導入及び専門人材の確保支援の実施に向けて調整を行う。

(6) せとまちマッチング事業

学生、市内企業によるマッチングリストを作成し、リストに登録した学生、市内企業がツールを利用することで、企業見学会、社員との懇談会などの情報を共有し、お互いを知る機会を提供する。また、まち巡りなどの瀬戸市の情報を提供し、就職する地域の魅力を発信する。

4. 創業支援事業

(1) せと・しごと塾

地域の需要や課題をビジネスの視点でとらえた「地域ビジネス」の創業に必要な知識を座学と実学の両面から学ぶ機会や外部の起業家等との交流の機会を提供し、起業家を輩出するための環境づくりを行う。

対 象：瀬戸市で地域のためになる事業での創業を目指す者

事務局：瀬戸市、瀬戸商工会議所、瀬戸信用金庫

(2) 起業セミナー

市内で「起業したい」と考えている人を対象に、起業のポイントを伝え、起業を実現するためのきっかけを提供する。

(3) せと・創業くらぶ

創業希望者及び創業者を対象とした登録制コミュニティを創設し、相談窓口やセミナーといった経営課題の解決につながる各種支援情報をメールやLINEで提供することで、新たな創業者の輩出及び創業後のフォローアップを目指す。

(4) せと・創業カフェ

創業という共通の目標を持つ者が集まることで、創業に対する意欲を高め、創業者同士のネットワークの構築を助長するとともに、悩み・課題の解決を図ることを目的とする。

第5号議案

令和8年度瀬戸市地域産業振興会議 収支予算（案）

【収入】

（単位：円）

科 目	令和7年度	令和8年度	備 考
繰越金	1,000,361	450,830	
負担金	15,038,000	15,038,000	瀬戸市 10,500,000 瀬戸市（地域未来交付金対象分） 3,500,000 瀬戸商工会議所 386,000 愛知県陶磁器工業協同組合 386,000 瀬戸暁工業団地協議会 78,000 瀬戸市穴田企業団地連絡協議会 78,000 愛知県珪砂鋳業協同組合 39,000 瀬戸金融協会 39,000 瀬戸市商店街連合会 8,000 愛知県トラック協会尾東支部 8,000 日の出企業会 8,000 山の田企業懇話会 8,000
雑収入	1,639	1,170	預金利子他
基金	2,000,000	2,000,000	瀬戸市地域産業振興基金
合計	18,040,000	17,490,000	

【支出】

(単位：円)

括弧内：主な事業（内数）

科 目	令和7年度	令和8年度	備 考
会 議 費	5,000	5,000	総会、幹事会他
事 業 費	17,997,000	17,448,000	産業支援・交流事業 14,518,000 (内訳) 謝金・旅費 2,920,000 (専門相談 2,920,000) 印刷製本費 40,000 通信運搬費 112,000 資料購入費 5,000 委託料 4,014,000 (コーディネーター等委託 3,420,000) 補助金 7,250,000 (専門家派遣・外部人材活用 200,000) (販路拡大支援 3,400,000) (知的財産権登録 150,000) (職場環境づくり応援 500,000) (新商品発掘創出 500,000) (スタートアップ連携 2,500,000) 備品購入費 10,000 消耗品費 7,000 負担金 150,000 雑費 10,000 産学・産産連携事業 1,898,000 (内訳) 謝金・旅費 177,000 印刷製本費 25,000 委託料 680,000 補助金 300,000 使用料 700,000 雑費 16,000 人材育成・雇用促進事業 1,032,000 (内訳) 謝金・旅費 880,000 印刷製本費 40,000 通信運搬費 17,000 委託料 10,000 補助金 80,000 雑費 5,000 内、7,000,000円地域未来交付金対象分
予 備 費	38,000	37,000	
合 計	18,040,000	17,490,000	

《特別会計》 創業支援事業 収支予算（案）

【収入】

（単位：円）

科 目	令和7年度	令和8年度	備 考
繰 越 金	143,405	260,053	
負 担 金	2,000,000	1,900,000	瀬戸市からの負担金
雑 収 入	141,595	140,947	受講費（7,000円×20人）、預金利子他
合 計	2,285,000	2,301,000	

【支出】

（単位：円）

科 目	令和7年度	令和8年度	備 考
事 業 費	2,141,595	2,040,947	謝金・旅費 704,250 交流事業 85,000 委託料 1,080,820 消耗品費 35,000 備品購入費 35,000 使用料 60,500 雑費 20,000 予備費 20,377
還 付 金	143,405	260,053	
合 計	2,285,000	2,301,000	

令和8年度 瀬戸市地域産業振興会議役員名簿

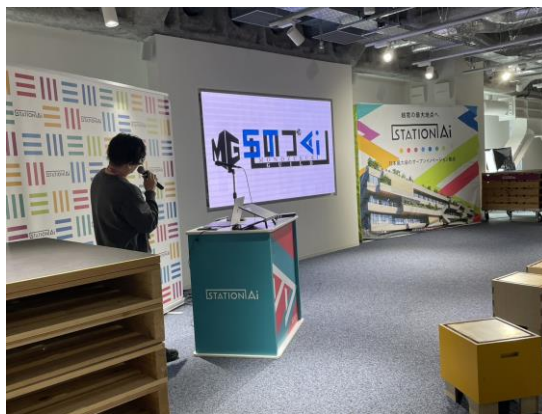
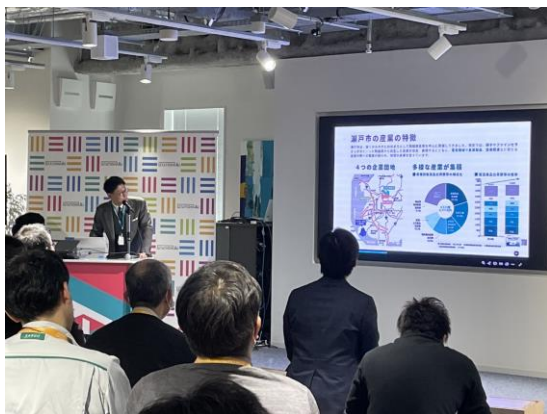
(敬称略)

役職名	団体名	職責	氏名
顧問	国立大学法人名古屋工業大学	学長	小畑 誠
顧問	瀬戸市議会	議長	高島 淳
顧問	瀬戸市	市長	川本 雅之
会長	瀬戸商工会議所	会頭	河村 誠悟
副会長	愛知県陶磁器工業協同組合	理事長	中野 昭雄
副会長	瀬戸暁工業団地協議会	会長	水野 一隆
副会長兼 会計担当理事	瀬戸市	副市長	大森 雅之
理事	愛知県珪砂鋳業協同組合	理事長	山中 俊博
理事	日の出企業会	会長	吉田 幸司
理事	山の田企業懇話会	会長	清水 伸裕
理事	瀬戸市商店街連合会	会長	水野 忠治
理事	瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会	会長	鈴木 政成
理事	愛知県トラック協会尾東支部 瀬戸旭・ 守山部会	部会長	小林 永典
理事	瀬戸焼振興協会	会長	中野 昭雄
監事	瀬戸市穴田企業団地連絡協議会	会長	杉山 大介
監事	瀬戸金融協会	会長	成田 順一
参与	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中部センター	所長代理	山田 保誠
参与	独立行政法人 日本貿易振興機構 名古屋貿易情報センター	所長	平野 修一
参与	一般財団法人 ファインセラミックスセンター	専務理事	市原 健資
参与	あいち産業科学技術総合センター 技術支援部 瀬戸窯業試験場	場長	市毛 将司
参与	経済産業省中部経済産業局 産業部 産業 振興課	課長	大橋 康史
参与	愛知県 経済産業局 産業部 産業政策課	課長	社本 朗
参与	瀬戸公共職業安定所	所長	山田 日廣

STATION Ai における主な活動の様子

1 令和7年12月9日（火）ものづくりギルドピッチイベント登壇

製造業に関わる STATION Ai 入居企業による自主コミュニティが開催したイベントにて、瀬戸市の産業に関する紹介や、支援施策の在り方についてピッチを行い、30名以上の入居企業が集まり、意見交換を実施した。



2 令和8年1月14日（水）フリー交流会にて自治体コラボイベント実施

定例で開催されている入居企業フリー交流会において、STATION Ai 運営と連携し、自治体コラボイベントを企画・実施した。本市を含む4自治体が入居企業に向けて、課題やPR事項をピッチし、交流を図った。



3 令和8年1月23日（金） 瀬戸市長によるトップセールス

瀬戸市単独で、入居企業に向けて、市が抱える課題を提示するリバースピッチ&交流会を実施した。当日は市長も登壇し、50名以上の入居企業が集まり、課題解決に向けた意見交換や交流を図った。



PITCH
networking

瀬戸市

官民共創に向けて

01 瀬戸市について

- ①1000年を超える歴史を有する
やぎもののまち「陶部・瀬戸」
- ②陶器、磁器、ノベルティ、セラミックス
「挑戦・革新」で伝統を紡ぐまち
- ③ものづくり文化が根付き
「アントレプレナーシップ」宿るまち



02-1 商工観光課



**市内企業と共に
次のステージへ！**

商工金融係
係長 大森大地



商工金融係では、瀬戸市内の製造業を中心とした中堅中小企業の皆さまの「販路拡大」「新商品開発」「雇用確保」などに向けた支援を行っています。

市内企業においても、デジタル化や深刻な人手不足への対応は喫緊の課題です。このような課題を共に解決するため、STATION AIに入居しました。革新的なアイデアや技術をもつスタートアップの皆さま、どうかお力をお貸しください！

また解決するだけでなく、さらにその先を一緒に進めたいです！

新しい技術とサービスで 生産性向上と高付加価値化